

高川地区キャッチフレーズ  
～高川で“わくわくわく”  
湯がわく 和がわく 笑顔わく  
TEL 83-1001 FAX 83-0486

# こだま 高川公民館 KODAMA

## ～高川と大学生との地域づくり～

### 5年目のSUIJI

愛大学生やインドネシアからの留学生が地域に滞在して、地域住民と交流しながら地域について学び、課題の解決や自らが主体的に活動することを目的とする「SUIJI」が8月19日(日)から8月29日(水)までの間、主に川津南分館を拠点として行われました。今年も、高川地区から大学生に2つのお願いをしました。

### 桃園の愛称・看板づくり プロモーションビデオ作製

高川地域づくり会では、桃源郷の里(桃園)の看板をこれから設置する予定ですが、その看板と桃源郷の里に代わる愛称を、大学生と地域のみんなで考えてみよう!ということになり、大学生に依頼しました。大学生の進行で、大人も子供も一緒にいろいろつかのグループに分かれ、桃園への思いや願いを込めながら、愛称を考え、大きな紙に看板となるデザインを描きました。

は...乞うご期待!



大学生という「外からの視点」を活かした高川地区を外部にPRする動画(プロモーションビデオ)の作成を依頼しました。

大学生は、動画作製にあたり、高川地区の人口減少の改善を考え、移住希望者などの外部だけでなく、高川地区の子供たちもターゲットに捉え、活動中に感じた「盛んな地域活動」「豊かな自然」「人とのつながり」「静かな環境」といった魅力を伝える素晴らしい動画を2本作製してくれました。

今後、SNSなどでのPRに活用するとともに、インターネット以外で高川地区の皆さんにも見ていただけたらと考えております。



←動画の二コマ

他にも子供たちを対象に、インドネシアの踊りを一緒に踊ったり、イスラム教の衣装を着たりしました。



きになりました、という言葉を大

高川と大学生とのつながりが続くことを願っております。

SUIJIの活動にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



10日間のさまざまな活動やふれあいなどをとおして、高川が好







# 「美味しいひやまき」

高川婦人会 会長

福井 知恵

今年は今までにない豪雨災害の夏となり、皆さまざま大変な思いをされた事と思えます。災害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

そんななか、高川では地域活性化の活動がありました。愛大学生やインドネシア留学生との地域交流の中で、私はインドネシア料理教室に参加させて頂きました。主食は米だそうで、そのせいか体格も人柄も日本学生と大差なく、とても親しみやすく感じました。

ナシゴレンや鶏と野菜のビーフンスープ、ジャガイモ餅の揚げ物、味付け豆腐の揚げ物等、材料は日本食と変わりありませんが、香辛料を多く使うところがインドネシア風の様です。子供達も一緒に楽しい食事にになりました。少しの時間ではありましたが、普段と違った景色を見る事が出来たことに感謝します。

9月30日には敬老会があります。楽しい1日になればと願っています。

高川公民館コーナー

今年の城川オリオンピックは中止が決定しております。来年の開催まで、より良い城川オリオンピックとなるよう検討を行います。



# ビオトープで環境観察

8月26日(日)に高川婦人会環境教室(立山久恵学級長)と川津南維新の会(亀岡陽介会長)

による「ビオトープ観察会」が行われました。当日の朝から、維新の会のみなさんが会場となる安尾区の田んぼの草刈など行い、観察しやすい環境を整えていただきました。

参加した子供たちとSUIJIの大学生が、田んぼの中で泥にまみれながら生き物を探し、しばらくすると「カニ捕まえた!!」「ヤゴがおる!」と声が上ががり、ドジョウやゲンゴロウ、イモリなど、さまざまな水辺の生き物を見つけました。

その後、川津南分館で愛媛県環境マイスターの加藤雄也先生(宇和町)から、見つけた生き物についての丁寧な説明を聞き、良好な水辺環境が保たれていることを確認できました。



観察会終了後、高川婦人会から数種類のスパイスを効かせた特製カレーライスが振る舞われ、おなかも知識も満たされた1日となりました。

# 「生物生息空間」

「人口的に再生された自然生態系の観察モデル」などという意味があり、生き物の観察をおして、高川の自然環境を知ることが目的としています。

# 旧高川小・桃園清掃

9月1日(土)に、高川地域づくり会(玉川浩幸会長)の呼びかけで、高川地区グラウンド(旧高川小学校)と桃園(池野々区)の清掃作業が行われました。

当日は、天候が心配されましたが約60人もの方にご参加いただき、2時間半の作業によって、生い茂っていた草も見事に刈られ、元のきれいな姿を取り戻しました。

また、子供たちにも参加してもらい、石を運んだりと桃園の整備に大活躍しました。

ご協力いただきました皆さま、誠にありがとうございました。

